



「お年寄りを大切にする心を育みましょう」

先月はあまりに暑くて熱中症注意の日があり、午後には外で遊べない日も何日かありましたが、子ども達は元気よく遊んでいました。そんな中運動会の練習も少しずつ始まっています。どんな趣向を凝らした運動会になるのか、今から楽しみです。

今年では会場の都合で10月4日(土)に延びてしまいましたが御家庭でも子ども達に励ましの言葉をかけてあげてください。

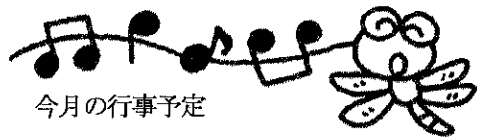
さて、9月15日は敬老の日です。おじいちゃん、おばあちゃんと離れて暮らしている子ども達が多いと思いますが、熱を出したりした時や親御さんが忙しい時などに代わって迎えに来てくれたり等たくさんさんの支援を頂いていることだと思います。

私事ですが、幼少の頃両親が田畑の仕事で忙しい時は、ばあちゃんやびいちゃんにいろいろな事を教えてもらいました。ばあちゃんとマヨネーズ作りをした事を思い出します。ばあちゃんが卵黄を白っぽくなるまでかき混ぜているところへ油を少しずつ入れるのが私の役割でした。田舎なのでその頃市販のマヨネーズはあまり知られていなかったと思います。それをばあちゃんが知っていたということ、今思うとすごいなあと感じてしまいます。

一生懸命仕事をし、育ててくれ、導いてくれたおじいちゃんおばあちゃん達に敬意を表し、子ども達にもお年寄りの方たちに対して優しくしている姿を見せて上げて欲しいと思います。そうすることで、子ども達もお年寄りの方たちを大切にする心が育まれていくことだろうと思います。

誰に対しても「愛」を持って暮らせますように！

(園長 平野 義子 記)



今月の行事予定

- 4日(木) 静修の日(3~5歳児)
- 11日(木) 誕生会
- 19日(金) 運動会総練習 ?日 避難訓練



☆お知らせ☆

- ・9月16日(火) から幼児専門学校の〇〇〇〇〇さんが実習にきます。
- ・今年度は運動会が10月4日(土) になっています。お間違いないようお願いします。
- ・10月6日(月) から面談が始まります。詳細は後日配布いたします。
- ・5歳児すぎのこタイムは12月から実施いたします。



9がつうまれのおともだち

おたんじょうびおめでとう



おとうさんおかあさんから

7か月から通い始め、早いもので卒園するまであと7か月となりました。〇〇は3人兄弟の真ん中、しかも1人だけ女の子ということもあり一番しっかりしています。末っ子の弟が生まれてからは我慢することも多くなり、本当はもっと甘えたかったけどそれもできないでいる事を私達は気付いてあげられませんでした。そんな時、先生達に「少しでもいいから抱っこして下さい」と言われ、〇〇の思いを気付かされたことがあります。仕事と育児で日々忙しく過ごし、〇〇をきちんと見ていなかったと反省しました。

今では、〇〇は自分の気持ちを伝えることができるようになり、お姉さんしながら甘えることができるようになりました。

保育園では、〇〇も私達もいろいろ教えてもらうことができ、感謝しています。楽しかった思い出と教えられたことを宝物とし、4月からはまた新しい環境で成長して行って欲しいと願っています。

(ひつじ組 〇〇〇ちゃんのお母さんより)



「お年寄りの方々を大切にする心を育みましょう」

私が小さい頃、時々会う祖父母はいつも仕事をしていました。そして、私の姿を見つけると手を止めてニコニコと迎え入れてくれました。あの頃は、『今日もじいちゃんたち仕事してる!』としか思いませんでしたが今、振り返ってみるとあの姿があったからこそ両親がいて、今の自分があるんだと、ありがたく感じるようになりました。会社の為、家族の為に働いてくれた祖父母に感謝の気持ちを持ってたとき、既に祖父はいませんでした。

子どもたちには少しでも早くお年寄りの大切さに気付けるように知らせてあげたいものです。また、保護者の方にも尊敬や感謝の気持ちを伝えそびれることがないように、祖父母や近くにいるお年寄りとの関わりを多く持てるようにしていただけたらと思います。そして、私自身できるだけ多く祖母のもとへ足を運んで顔を見せ、祖父の分まで大切にしたいと思います。

(ことり組担任 跡部 紗希)

クラスだより

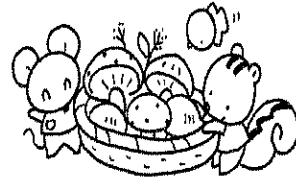
ばんび組 (0歳児)

(ねらい)

- ◎身近にいるお年寄りとの触れ合いを喜ぶ。
- ◎寝返りやはいはい、歩行など自分で動けるようになった喜びを味わう。

(家庭連携)

- ・自分で寝返りしたこと、歩けたことを十分に褒めて、その喜びを共感し、自分で動こうとする意欲につなげていきましょう。
- ・夏の疲れが出てくる時期なので、体調の変化をお互いに連絡し合いたいと思います。ご協力お願いします。



ひよこ組 (1歳児)

(ねらい)

- ◎お年寄りとの触れ合いを楽しむ。
- ◎体を動かして遊ぶことを楽しむ。

(家庭連携)

- ・祖父母や地域のお年寄りと関わる機会を持ち、触れ合う楽しさを感じられるようにしましょう。
- ・一緒に体を動かして遊びましょう。

ことり組 (2歳児)

(ねらい)

- ◎お年寄りと関わり一緒に遊ぶ楽しさを知る。
- ◎体を動かし運動遊びを楽しむ。

(家庭連携)

- ・お年寄りの方々と触れ合い遊ぶ楽しさを味わえる機会を作っていきます。
- ・休みの日など一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを伝え、休息も十分とれるようにしましょう。

こねこ組 (3歳児)

(ねらい)

- ◎お年寄りとの触れ合いを喜び、労いの気持ちを持つ。
- ◎保育士や友だちと一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。

(家庭連携)

- ・お年寄りとの触れ合いの中で優しく接することを知らせていきましょう。
- ・運動会の練習が始まるので、意欲的に取り組めるよう励ましていきましょう。



うさぎ組 (4歳児)

(ねらい)

- ◎お年寄りとの関わりを楽しみ、尊敬、労わりの心が育つ。
- ◎共通の目的を持って活動することを楽しみ、友達とのつながりを深める。

(家庭連携)

- ・お年寄りと関われる機会を作り、尊敬、労わりの心が育つようにしましょう。
- ・友達と共通の目的を持って競ったり協力して一つの事をやり遂げるなど友達とのつながりを深められるよう励ましたり褒めたりしていきましょう。

ひつじ組 (5歳児)

(ねらい)

- ◎お年寄りに親しみをもち、尊敬、労わる心が育つ。
- ◎体全体を協応させた複雑な運動や集団遊びなどを楽しむ。

(家庭連携)

- ・祖父母だけでなく、近所のお年寄りと関わる機会を持ちましょう。お年寄りに対して、尊敬し、労わる心が育つように話しましょう。
- ・保育園生活最後の運動会に向けて、毎日練習を頑張っています。自分の力を十分に出し切る心地よさを味わえるよう励ましをお願いします。



◎給食室より

- ・9月の目標はお年寄りの方々に大切にする心を育みましょう。お年寄りや食卓を囲む機会をもうけ日頃の感謝の気持ちを表してはいかがでしょうか?子どもたちにとっても、とても良い刺激になると思います。



♪今月の歌♪

『七つの子』

からすなぜなくの からすはやまに かわいいななつのこがあるからよ
かわいい かわいいとからすはなくの かわいい かわいいとなくんだよ
やまのふるすへ いってみてごらん まあるいめをした いいこだよ

『笑顔のたね』

- 1 きょうもみんなですこしずつ みんなですこしずつ えがおのたねまいて
はなさかそうよ えがおのたねまいて はなさかそうよ
ないてるひとがいたら そとてをつなぎ
だいじょうぶってきもちをいえたなら
※繰り返し
- 2 さびしいひとがいたら そとてをつなぎ
いっしょだよってきもちをいえたなら
※繰り返し





あなたの一分間拝借！

2014年9月1日

9月のテーマは、「お年寄りを大切に作る心づくりに励みましょう！」です。

大切にすることとは、互いに人格的存在であるということ認め合い、尊敬し合い、いたわり合うことだと思います。お年寄りも、些細なことでも、例えば名前を呼ばれることにも、とても敏感で吃驚することもあるものです。呼び捨てにされたとか、「さん」づけで呼んでくれなかったことで一日中ヒネクテ居る姿をみると「老人は二度童くニドワラベ」となることを思い出し自省させられるものです。又子ども時代の事を思い出します。祖母が朝ご飯の準備をしている時、祖父の大きな声が聞こえてきたのです。「オイッ！オイッ！」祖母は返事をしません。二回、三回、・・・ついに血相を抱えて祖母に、「爆弾」が炸裂する中、祖母は凍として返事をしたのです。「私はオイッではない、親から『おたツ』という名を頂いている」と。まさに『名は、体を表す』です。軍配は祖母のうえにありきでした。

特別養護老人ホームでの思い出もあります。施設で介護する人を『寮母』といいます。寮母さんたちの慈愛に満ちた介護如何で施設の信用が評価されると言われるほど寮母さんの言葉、介護する時の言葉だけでなく、自由時間の時でも、家に帰ってからでも、或いは家族同士でも言うてはならない言葉があることに目覚めてほしいものです。どんな方でも人格を貶したり、傷つけるような言葉は慎まなければと痛感させられたものです。たとえばこんな会話を耳にしたことがあります。『ワツ臭い、良い香りのする「ウンチ」はないかしら！』『今取り替えたばかりなのに、また出たの！』・・・『いつまで食べているの、よくこぼすわね！』『年寄りなのに、よく食べるわね』『わがまま言わないでたべて！』、入浴時間中・・・『少しぐらい熱くても我慢するのよ』、『いつまで入っているの、まだ、濡れているから着てはだめ！』等々・・・お年寄りは孤独と不安と日々闘っております。施設だけでなく家庭でも、また、独居生活の方々にも、人格的配慮に満ちたケアを分かち合えるような人間性を育む9月の日々を過ごしましょう。特に最期のときこそ、お年寄りを大切にすることが、私たちの思いやりと愛によって証明されます。死、それは自分の人生を汚れない清き供え物として、愛である神に捧げる厳粛な瞬間であるということが出来ます。それだけにふさわしい自分を締めくくりとして、聖書の導きのもとに新しい自分になることがすべての人々に求められています。

高齢社会、核家族化等の今、聖書は、両親との関わり方について次のように啓示しています。

旧約聖書シラ書3章12-14

子よ、年老いた父の面倒を見よ。生きている間、彼を悲しませてはならない。たとえ、彼の物覚えが鈍くなっても思いやりの心気持ちを持って、自分が活力に満ちているからといって、彼を軽蔑してはならない。主よ、父親に対するお前の心遣いを忘れない。

箴言書23章22 シラ書3章16

父に聴き従え、生みの親である父に。母が年老いても侮ってはならない。父を見捨てるものは神を冒瀆（ぼうとく）する者、同じく父母を怒らせる者は、主に呪われている者！

両親を敬う義務は決して終わるものではありません。また親は子どもを自分達の愛の果実としてだけ考えず、『神の賜物』と受け止めながら、成人するまで育成に励み、責任ある育児をしてこそ子ども達から尊ばれる存在となります。自分の思いのままに育てたり、自分の夢を子どもの将来に期待して子どもの人生に水をさすようなことをしないようにしましょう。子どもが結婚しても、親は依然として親であることに変わりはないのですから人生の先輩として家族の絆を深め、学び合うことが肝要と心得ます。

「茄子の花と親の意見は、千に一つのむだがない」という諺があります。

(茄子の花が必ず実を結ぶように、親の意見にも必ず得るところがある)

老いは誰にでもある。老いと正しい関わり方が、家族を豊かにし、あなたを永遠の命に導く！



カトリック古川教会
司祭 川井 啓